

公開パネルディスカッション

みんなとの「つながり」を

地域の変化・変革へ



いくのパーク 多目的室（大阪市生野区桃谷5-5-37）

2024年6月7日（金）15:00-17:00（開場14:50～）

このたび、JCIEとJPFは、NPO法人IKUNO・多文化ふらっとの協力のもと、地域社会との「つながり」をテーマとした公開パネルディスカッション*を開催します。

パート1では、東京都および神戸市で、地域に根付いた、または海外とのつながりを大事にしてきた活動の中から、地域に暮らす外国ルーツの人々の悩み、不安に気づき、外国ルーツの人々も包摂していく地域づくりに向けて、活動の幅を広げる取り組みを本格化させた2団体より、そのきっかけや活動のねらい、「つながり」を創造する、進化させようとする取り組みについて報告いただきます。

パート2では、日本最大級のコリアタウンがある大阪市生野区で、行政、民間、NPOそれぞれが、誰もが暮らしやすい地域づくり、「ともに生きる」地域づくりに向けて考える「つながり」の意味とそのための実践、20年後の生野区の姿を語り、皆さまと共に考えます。

*今回の公開パネルディスカッションは、休眠預金活用事業「アウトリーチ手法による外国ルーツ住民の自立支援事業」の成果発信の一環として開催するものです。



主催：日本国際交流センター（JCIE）、ジャパン・プラットフォーム（JPF）
共催：IKUNO・多文化ふらっと



プログラム

15:00 開会あいさつ

パート1

15:05~15:20

活動報告① 村松清玄 (公社) シャンティ国際ボランティア会
(東京都豊島区・練馬区)

15:20~15:35

活動報告② 中山迅一 認定NPO法人まなびと (兵庫県神戸市)

15:35~15:50

質疑応答

パート2

15:50 - 16:45

座談会 「大阪・生野が『つながり』から
つくり出そうとしているもの」

パネリスト

- 筋原章博 生野区長
- 隅田耕史 生野区NPO連絡会副代表
- 徳永達志 ロート製薬 広報・CSV推進部
- 森本宮仁子 IKUNO・多文化ふらっと代表理事

モデレーター

- 毛受敏浩 日本国際交流センター執行理事

16:45 - 16:55

質疑応答

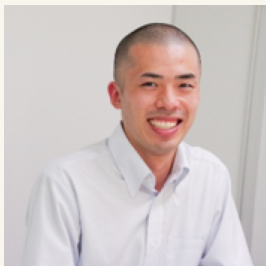
17:00

プログラム終了



登壇者プロフィール

パート1



村松 清玄（むらまつ せいげん）

公益社団法人シャンティ国際ボランティア会
国内事業課 国内事業担当

1993年、青森県五戸町生まれ。曹洞宗僧侶。東北大学文学部卒業後、大本山永平寺で3年間修行。修行中に会ったシャンティ国際ボランティア会の活動に共鳴し、2020年11月にシャンティに入職。現在に至るまで、東京都内における外国ルーツ住民への支援事業を担当している。



中山 迅一（なかやま としかず）

認定NPO法人まなびと 理事長

1984年神戸市西区に生まれ、須磨区で育ち、甲陽学院中学校・高等学校へ進学。京都大学文学部へ入学後、佛教大学教育学部へ編入。佛教大学在学中に神戸大学を拠点とする国際協力NGO「PEPUP」に参加。塾講師や個別指導・家庭教師の経験を経て、2014年に「NPO法人まなびと」を設立。

パート2



筋原 章博（すじはら あきひろ）

大阪市生野区長

和歌山県和歌山市生まれ。大阪市立大学商学部卒。

1985年から大阪市役所に勤務し20年以上港湾行政に携わる。

JICAエキスパートとしてもイランやスリランカで港湾マスタープランを作成。2010年に大阪市大正区の区長に就任。2017年には大阪市港区長、2022年に大阪市生野区長に就任し、現在に至る。『異和共生』を基本理念に、Tugboat Taisho（ミズベリング・イノベーター大賞）、ヨリドコ大正メイキン（都市住宅学会会長賞）などのプロジェクトを公民地域連携で実施、エリアの価値向上に取り組む。著書に『異和共生のまちづくり 暮らしても、遊んでも、働いても面白いまちへ再変革』（セルバ出版、2017年）。



徳永 達志（とくなが たつし）

ロート製薬株式会社 広報・CSV推進部 CSVグループマネージャー
（大阪万博&地域連携グループ、未来社会デザイン室（ロートこどもみらい財団）兼務）

新卒でNTTドコモ入社。通信事業各部門を経験後、新規事業領域のフロンティアとして、ドコモとして通信事業以外で初の領域となる金融事業立ち上げに参画し、クレジットiDや現在のdカードの立ち上げ・普及促進をリード。ライフスタイル領域開拓として、ABCクッキングとの資本提携を完了させた後、出向し経営企画部門立ち上げを担う。2018年からロート製薬現職で、ソーシャルグッドな取組やマルチワークのカルチャーづくりを目指す一方、2025万博プロジェクト兼務、ロートこどもみらい財団兼務など、次世代をワクワクさせるべく活動中。



隅田 耕史（すみだ こうじ）

NPO法人フェリスモンテ 理事・事務局長

2004年大阪市立大学文学部卒。2006年より現法人でボランティア活動を行い、2007年より事務局長に就任。生野区NPO連絡会副代表。桃山学院大学非常勤講師（ビジネスデザイン学部「社会的企業経営」）、全国食支援活動協力会理事、日本NPOセンター評議員、地域共生ケア全国ネットワーク監事、住民参加型在宅福祉サービス団体全国連絡会幹事、大阪有償ボランティア団体連絡会代表、大阪宅老所・グループハウス連絡会共同代表、地域共生ケア生野推進委員会代表、生野区ボランティア・市民活動センター運営委員会副委員長など。



森本 宮仁子（もりもと くにこ）

NPO法人IKUNO・多文化ふらっと 代表理事

聖和大学 教育学部 幼児教育学科卒業。
大阪市立大学大学院（現：大阪公立大学） 創造都市研究科 修士課程修了（都市政策修士）。
社会福祉法人 聖和共働福祉会 大阪聖和保育園に保育士として就職。主任保育士、施設長を経て現在、事務局長（業務執行理事）。
保育士養成校での非常勤講師、「民族保育」「人権保育」等に関する研修会を多数受諾。

モデレーター



毛受 敏浩（めんじゅ としひろ）

（公財）日本国際交流センター 執行理事

慶応大学法学部卒。米国エバグリーン州立大学公共政策大学院修士。兵庫県庁で10年間の勤務後、1988年より日本国際交流センターに勤務。多文化共生・移民政策、草の根の国際交流調査研究など多様な事業に携わる。現在、文部科学省中央教育審議会日本語部会専門委員、新宿区多文化共生まちづくり会議委員。これまで総務大臣賞自治体国際交流表彰選考委員、内閣官房地域魅力創造有識者会議委員等を歴任。著書に『人口亡国－移民で生まれ変わるニッポン』（朝日新書、2023）、『移民がひらく日本の未来』（明石書店、2020）等多数。